

人の可能性を照らせ。



2022年11月8日  
株式会社 QD レーザ

## アルビノの若者が RETISSA を使って動物園を楽しむ企画を支援します。

QD レーザは、クラウドファンディング「アルビノの学生に自分の目で動物園を楽しんでほしい！」を支援します。このクラウドファンディングは、アルビノ・ドーナツの会様（大阪府 代表藪本舞様）がプロジェクトオーナーとなり、QD レーザの RETISSA（レティッサ）を使って、アルビノの若者が和歌山県白浜町のアドベンチャーワールドで動物を見て楽しむことを目指しています。アルビノによるロービジョン（弱視）は眼鏡による矯正の効果を得にくいと言われていましたが、レーザ網膜投影が有効な場合が多いことが分かってきました。全国 6,000 人のアルビノ当事者の見えづらいを「見える」に変えるプロジェクトが始まります。

先天性眼皮膚白皮症とも呼ばれるアルビノは国の難病に指定され、発症率は17,000人に1人といわれています。ロービジョン(弱視)と呼ばれる症状があり、眼鏡やコンタクトといった視力矯正器具を使っても視力を出すことが難しい、生まれた直後から肉眼で対象の細かな部分まで目で見るのが難しい方が多いと言われています。

アルビノによる弱視には、レーザ網膜投影が有効な場合が多いことが分かってきました。既にアルビノの若者が RETISSA を紹介したり、水族館で試したりする動画が、株式会社ミライロ様によって公開されています。

<https://www.youtube.com/watch?v=RSSeiCLq7v8>

<https://www.youtube.com/watch?v=MOtONlOt fE>

今回のクラウドファンディングは、アルビノ・ドーナツの会が支援金を募り、アルビノの若者に QD レーザの RETISSA Display+CAM と ON HAND を使って動物を見て楽しんでもらうことを目標にしています。和歌山アドベンチャーワールド様(和歌山県西牟婁郡白浜町 運営は(株)アワーズ 代表取締役社長山本雅史様 大阪府松原市丹南 3 丁目 2 番 15 号)が特別企画として協力し、当日の様子は後日動画公開される予定です。

■クラウドファンディング「アルビノの学生に自分の目で動物園を楽しんでほしい！」



写真1 クラウドファンディングのページ

掲載媒体： CAMPFIRE(株式会社 CAMPFIRE)

主催者： アルビノ・ドーナツの会

期間： 11月8日～12月8日まで

目標金額： 200万円

URL: <https://camp-fire.jp/projects/625837>

協力： 株式会社アワーズ、株式会社 QD レーザ

#### ■アルビノ・ドーナツの会

2007年創立。アルビノ当事者やその人に寄り添って暮らす人たちが情報交換するとともに、より多くの人にアルビノに関しての情報を広めていくことを目的として、アルビノ当事者や家族の交流会、学校や地域などでの講演活動、メディアの取材対応、啓発誌への寄稿、他の団体との合同イベントなどを行っています。

#### ■株式会社アワードのアドベンチャーワールド

株式会社アワード様が運営するアドベンチャーワールドは、2017年から障害のある子供たちとその家族を招待し、園内を貸切りにして楽しんでもらうという「ドリームデイアットザズー」という取り組みを続けています。

今回のプロジェクトでは、アドベンチャーワールド内の特別企画としてアルビノの若者を招待し、撮影にもご協力いただきます。更に、クラウドファンディングの協賛企業として、リターン品の提供、公式サイトでの広報活動も支援して下さることになっています。

#### ■RETISSA ON HAND(レティッサ オンハンド、写真1)

接眼レンズの反対側に内蔵したカメラの映像を、60度という広い視野角で網膜いっぱいに描き出します。重さは500グラムで持ちやすいアーム付き、片手で持って使えます。プロジェクタ、レーザ、電池などはすべて内蔵されているので、外部の配線はありません。またフィッティングも必要ないため、手に取ってスイッチを入れればすぐに使えるという手軽さがあります。網膜に映し出されるのは、オートフォーカスのカメラで撮影されたフォーカスフリーのフルカラー映像です。7倍のズームで遠くのものも見やすくし、明るさの調整も可能です。また、画像を白黒反転する機能は、特に文字を読むときに効果を発揮します。映像の動きを一時停止して、じっくり見ることが出来る画像キャプチャという機能も付いています。

(ご購入に関しては、QD レーザ販売代理店の INA 計画株式会社にお問合せください。

<https://ina-plan.co.jp/> )



写真1 RETISSA ON HAND  
(レティッサ オンハンド)

### ■RETISSA Display II +CAM(写真2)

前述のミライロハウスの動画で紹介されたアイウェアです。装着すると、メガネフレームに内蔵したオートフォーカスのカメラがとらえた映像が、眼鏡のレンズ部分に設置したレーザ網膜投影装置によって網膜に投影されます。投影される画像は、フォーカスフリーのフルカラー映像です。3 倍のズームで遠くのものもアップで見ることができ、明るさの調整も可能です。また、画像を白黒反転する機能は、特に文字を読むときに効果を発揮します。装着者の目や鼻の位置に合わせて、フッティングすることで安定した使用感が得られます。片眼で見えていただきますが、右でも左でも見やすい方の眼で見るようにセットできます。両手が自由になるので、作業しながらお使いいただくのに最適です。レーザ網膜投影装置のコントローラと電源は、専用ポシェットに入れて持ち歩けます。



写真2 RETISSA Display II +CAM

### ■QD レーザの取り組み

QD レーザは、世界に先駆けて製品化したレーザ網膜投影技術を、①見えづらいを「見える」に変える、②「見える」の健康寿命を延ばす。③「見える」の世界を拡張するという 3 つの領域で活用する取り組みを進めています。この度のクラウドファンディングへの支援は 1 つめの見えづらいを「見える」に変える領域です。

### ■本件に関するお問い合わせ先

株式会社 QD レーザ 視覚情報デバイス事業部  
メール:retissa@qdlaser.com

以上